

東京都高等学校短水路記録会（2月11日）追加要項

東京都高体連水泳専門部

大会参加するにあたり、令和7年度東京都高等学校体育連盟水泳専門部競技会要項 P29～33「9. 競泳における大会当日の諸注意」に記載されている内容と本追加要項を必ず確認し、引率責任者は示される諸注意を厳守し、部員やその保護者に周知徹底すること。

1 入場について

- (1) 選手・選手外生徒・顧問・コーチ（AD カードを所持している者）の入場時間は、8時00分とし、2階東側出入口からの入場とする。
- (2) 「選手証」、「選手外生徒証」、「顧問証」、「コーチ証」（以下「AD カード」）には、略称ゴム印を押印し、サインペンやボールペンなどで氏名を記入し、ADホルダーに入れ提示できるようにする。
- (3) 「応援券」での入場時間は、9時00分とし、2階西側出入口からの入場とする。
- (4) 「応援券」にも所属校の略称ゴム印の押印が必要。
- (5) 館内入場後、2階東側出入口にある受付ブースで、応援券を提出し、保護者等入場証と引き換え後、所属・氏名を記入してからADホルダーに入れ、首から下げた状態で明示すること。

2 会場使用上の注意

- (1) 控え場所（スタンド座席）・導線・更衣について
 - ①学校ごとにスタンド席を割り振る。指定区域外への立ち入りを禁止する。（別紙「座席表」参照）
 - ②2階A06席後方とB06席後方に撮影専用席を設ける。撮影者のみ使用可能。レース撮影後は速やかに退席し、譲り合って利用すること。（応援券での入場の場合、撮影席の使用は不可です。）
 - ③スタンド席から更衣室・プール・招集所までの導線は、別紙「会場図」を参照すること。
 - ④更衣室は更衣のみに使用し、荷物は置いていかない。荷物はプールサイド赤台に置くこと。
 - ⑤2階通路（車椅子観覧スペースを含む）からは応援、撮影をしないこと。

3 プールの使用について

混雑状況によって変更する場合がありますので、当日は競技役員の指示に従うこと。

(1) メインプール（A面）（ダイビングプール側）

- ①短水路10レーンで行う（レースは1面開催：A面側）。水深は2mとする。
- ②バックプレート付きスタート台およびバックストロークレッジを使用する。
- ③8時00分から競技開始15分前までウォーミングアップが可能。
- ④8時30分から公式スタート練習を行う。
- ⑤パドル・フィン・シュノーケルの使用は禁止する。

(2) アッププール（B面）（電光掲示版側）

- ①ウォーミングアップとダウンが可能。
- ②男女でレーンを分ける。西側が男子専用、東側が女子専用とする。
- ③パドル・フィン・シュノーケルの使用は禁止する。
- ④競技開始後は第0レーン、第9レーンを常時スタートレーンとする。

4 招集について

- (1) 招集は、大会関係者室3（更衣室側）にて行う。別紙「会場図」参照すること。
- (2) 招集は掲示で集合を指示する。指示の前に招集所への移動は控えること。

5 棄権とリレーオーダーについて

- (1) 棄権届とリレーオーダーの受付は1階西側リゾリューションデスクにて行う。（別紙「会場図」参照）
- (2) 個人種目を棄権する場合、棄権届を提出する。
- (3) リレーに参加する場合、リレーオーダー用紙に記入し、リレーオーダー受付場所にリレーオーダー締切時刻までに提出する。（場所や締切時刻については、別紙「会場図」、「タイムテーブル」参照）
- (4) リレーを棄権する場合、リレーオーダー用紙の「棄権します」に○をつけて締切時刻までに提出する。
- (5) リレーオーダー用紙は東京都高体連水泳専門部HPからA4で印刷し、半分に切り取り利用する。男子は右上を切り取る。リレーオーダー用紙に記入する個人背番号は、東京都高体連水泳専門部HPに掲載する。会場での掲示は行わない。
- (6) リレーオーダー用紙の記入方法については、令和7年度水泳専門部競技会要項P.31で確認すること。

6 競技について

- (1) 本競技会は、(公財)日本水泳連盟競泳競技規則に則り実施する。
- (2) 決勝以外の競技のスタートはオーバー・ザ・トップ方式で行う。ただし、背泳ぎおよびリレーに関しては、完泳後速やかに自レーンより退水することとする。競技の進行状況によって退水方法を変更する場合がある。競技役員の指示に従うこと。
- (3) バックプレート、バックストロークレッジ付のスタート台を使用する。調整は各自で行い、確実に固定されていることを確かめること。背泳ぎにおいてバックストロークレッジを使用しない場合は、自レーンの競技役員に申し出ること。
- (4) 競技に関する抗議は、当該校の顧問及び部活動指導員が文書でその事象発生後30分以内に抗議料5万円をそえてリゾリューションデスクに提出する。尚、その際に選手の同席は認めない。
- (5) 水着は世界水泳連盟マークの付いたものとし、世界水泳連盟マークが取れている場合は所定の用紙（東京都高体連水泳専門部HPから印刷）に記入し、招集時に提出すること。世界水泳連盟の公認した水着以外で大会に出場した場合は失格とする。
- (6) 着用できる水着は1枚のみとし、水着の重ね着やサポーター、インナー、パット等の着用を禁止する。
- (7) スイミングキャップを重ねて着用する場合は、商標規定の違反にならないよう注意すること。
- (8) 招集の際には、すべての装飾品（ミサンガやネイルアート等を含む）を外すこと。
- (9) テーピング類は禁止する。やむを得ずテーピング類を使用する場合は、事前に顧問とともにリゾリューションデスクに申し出て、審判長の許可を得ること。
- (10) 招集員の指示に従ってスタート台後方に移動すること。着用していた衣類は脱衣カゴに入れること。
- (11) 自動審判計時装置を停止させないタッチ（ライトタッチ）に気をつけること。ゴールタッチはタッチプレートの有効面に確実にタッチすること。
- (12) 不正に出場した時は、学校に対し実質1年間の出場停止を含む指導を行う。
- (13) 競技結果（速報）については東京都高体連水泳専門部HPに公開する。会場内の貼りだしは行わない。

7 ゴミについて

- (1) ゴミは各自で持ち帰ること。
- (2) 自動販売機や帰りの公園、コンビニ、駅などで絶対に捨てないこと。

8 YouTube 配信について

- (1) 本競技会の配信は行わない。

9 その他

- (1) 体調管理には十分留意すること。
 - ①こまめな水分補給を心掛けること。
 - ②ペットボトル、水筒等は専用のものを使用し、他者と共有しないこと。
- (2) 貴重品は各学校の責任において管理すること。貴重品を入れたバッグ等をロッカーやプールサイドに持ち込まないようにすること。
- (3) 事故、怪我等のないよう各学校において十分注意すること。
- (4) 会場内外の設備、備品等を破損した場合は、各学校の責任において弁償すること。
- (5) 忘れ物は、2階東側スタンド出入口付近にて保管する。帰宅後の忘れ物の問い合わせは指定した問い合わせ先先に連絡すること。絶対に東京アクアティクスセンター、東京都水泳協会、東京都高体連事務局に問い合わせしないこと。
- (6) 駅、公園等での待ち合わせは、一般利用者の迷惑になることがあるので待ち合わせをしない。また、駅から会場へ移動する際は、横に広がって歩いたり、通路を塞いだりしないこと。
- (7) 会場前や近隣への路上駐車は禁止する。また、送迎や駐車場空き待ちでの路上停車も禁止する。
- (8) 清掃当番は割り振らない。
- (9) 本競技会はADカードのない者のスタンドへの立ち入りはできない。

10 応援券での入場について（各団体の責任者は、周知をお願いいたします）

別紙「会場図」「座席割」を参照して下さい。

応援券での入場にあたり以下の注意事項を守って下さい。（当日の応援券販売はありません）

- ① 席は指定されたエリアでの応援となっております。同じチーム同士で場所取りをすることがないように、譲り合って使用して下さい。該当レースが終わったら席を開けていただくようお願いします。
- ② 応援券の入場は、9時00分より、2階西側出入口からとなります。選手たちとは時間も導線も違いますのでご注意ください。尚、入場時刻時間前は整列をして待機していただきます。その際は係員の指示に従い、横入りなどしないようにして下さい。館内入場後、2階東側出入口にある受付ブースで、応援券を提出し、保護者等入場証と引き換え後、所属・氏名を記入してからADホルダーに入れ、首から下げた状態で明示して下さい。入場後も案内に従って、走らず座席まで移動して下さい。
- ③ 「応援券」は小学生以上1人1名につき1日1枚必要です。選手同様にハガキサイズのホルダーに入れて、常に見える状態にしておいて下さい。特に撮影の際には必ず首からかけての撮影をお願いします。
- ④ 選手座席・アリーナへの立ち入りはできません。その他、会場内の案内や係員の指示に従っていただきますようお願いします

11 協力競技役員に関して

- (1) 顧問受付時に協力競技役員関するアンケートをプログラムと一緒に配布します。頂いたご意見を次年度以降につなげていきたいと考えておりますので、本年度、協力役員に入っていたいただいた学校の先生方のご協力ください。よろしくごお願い致します。